座長ヨリ左記書記ヲ任命シ書記局成立ス。

ラシテ本大會ヲシテ意義アラシメタイト思フ。

シ組合主義ヲ以テ一貫シテ來タノデアル、我々ハ益々此信念ヲ深

容ヲ變ヘタガ依然拔々ハ變ラザル精神ヲ以テ當局ト戰ヒ之ヲ排撃

主義ノ攻勢トフアツシヨ反動ハ資本家ノ走狗トナリ共ニ攻メノ陣

故勞働總同盟ハ確固不拔ノ精神ヲ以テ凡ユル障害ヲ撃退シタ資本

七、答辭　　　　　　關東代表　山田　耕　太　郎

松岡座長代議員答辭ヲト山田耕太郎ヲ指名ス。

アル

勞働組合運動ノ進ムベキ道ヲ啓示サレムコトヲ切望スルモノデ

テ本大會ニ集マル吾々ガ今後如何ニ行クベキカヲ研究シ以テ全日本

ル意義ト役割トヲ持ツノデアル代議員諸君ハ愼重ナル態度ヲ持ツ

勞農大衆黨トノ合同ヲ見タ別ル時吾々ノ本日ノ大會ハ更ニ重要ナ

會ノ統一ハ日本勞働組合會議ノ結成ヲ見、更ニ社會民衆黨ト全國

財團法人協調會大阪支所

八、書記局ノ成立

書記長鳩島金次郎、重廣虎雄、種田徳摩、赤松常子

九、祝辭、祝電竝オツ七十ジ披露ニ導カレタ今日迄ノ

祝ノ辭ツノ議レガ講開シ、ソシテ六年間麻痺生ヲ久

私ハ現在社會大衆黨ノ書記長トシテ活動シテ居ルガ、總同盟ハ私

ガ所屬シテ居タ組合デアリ、祝辭ヲ述ベルコトハ書記長トシテヨ

ハナク元ニ還ツテ述ベテ居ル氣持ガスル。先頃開催サレタ關東同

盟大會ニ於テモ祝辭ヲ述ベタガ、恰モ自分ノ家、故郷ヘ歸ツテ昔

話シヲシテ居ルヨウナ感ガスルノデアル。六年前總同盟カラ分裂

シテ行ツタガソノ道程ニツイテ考ヘル時、私達現在迄ノ分裂ハ甚

ダ無駄デアツタト考ヘル。乍然時トシテハ分裂モ已ムヲ得ザル手

段デアツタ、コノ事ハ諸君モ理解シテ吳レルデアロウ。

吾々ハ過去ノ貴イ經驗カラ今回無産政黨卽チ社會大衆黨ヲ結成シ

又勞働組合トシテハ日本勞働組合會議ヲ結成シ茲ニ大同團結シタ

財團法人協調會大阪支所